

働く男のライフスタイル情報紙

# Biz Life Style

[ ビズスタ ]

# 2017 12

特別版

『BizLifeStyle』は東京、神奈川、名古屋、関西、京都・滋賀、仙台、福岡、広島にて62万部発行  
下記URLまでアクセスを。

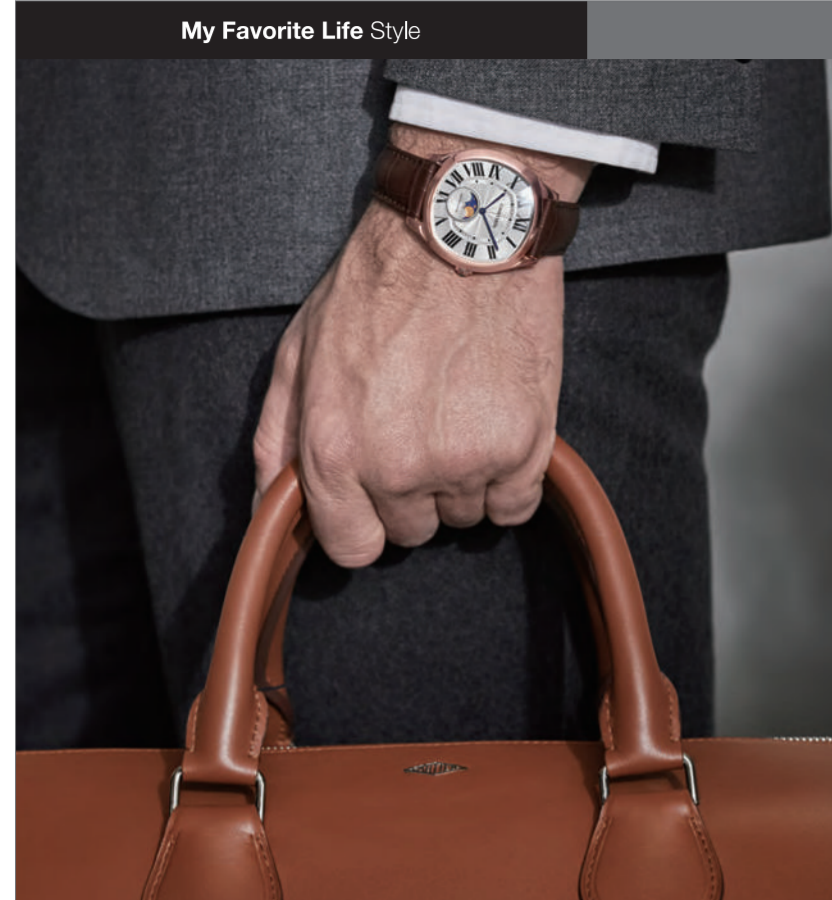
[www.biz-s.jp](http://www.biz-s.jp)

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは  
TEL.03-6854-7001 FAX.03-6854-7005

企画・制作 / 株式会社デイリースポーツ案内広告社  
〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 14F  
© 2017 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD



タイムレスな引力。  
カルティエ。



My Favorite Life Style

John Balsom © Cartier

ドライブ ドゥ カルティエ ムーンフェイス ウォッチ



CRWGNM0008 40x41mm. ピンクゴールド 2,473,200円(税込)

CRWSNM0008 40x41mm. ステンレススティール 915,300円(税込)

Vincent Walverlyk © Cartier

Drive de Cartier

自然体でいて、洗練。カルティエが描く、これからの男性像。

自然体で、自立し、エレガントに洗練された大人を描いた名品

今年「パンテールドゥカルティエ」の発表で沸いた「Drive de Cartier」だが、昨年の会場の話題をさらったのは、カルティエの男性向けコレクションだった。「Drive de Cartier」は、1904年から現在に至るリストウォッチ製造技術の集大成として、大きな反響を獲得。たちまちベストセラーの角を占めるに至った。今年「Drive de Cartier」の地位をさらに固めるべく、新たな意欲が発表されている。

新作を見る前に「Drive de Cartier」の概略を簡単にさらしてあげよう。古典的な「クッション」を現代的な解釈で再構築したケースによく見ると「ヘクソン」(八角形)を描く美しいベゼル。優雅なローマン・テックスと剣型針。ギョム・シエ彫りのダイヤル。瞬間的にはレトロスウェーデンなデザイン性に見えてしまうが、じつくりと眺めていると、モダンなイメージが湧いてくる。自然体のように見えて、その奥には洗練された知性と先端のライフスタイルを内包する。そんな現代の男性像が浮かび上がるウォッチに仕上がっている。

衝撃のデビューから一年を経て発表された新作コレクション

さて、今回の「Drive de Cartier」は、2系統の新コレクションが注目を浴びた。「Drive de Cartier」は「クッション」を現代的な解釈で再構築したケースによく見ると「ヘクソン」(八角形)を描く美しいベゼル。優雅なローマン・テックスと剣型針。ギョム・シエ彫りのダイヤル。瞬間的にはレトロスウェーデンなデザイン性に見えてしまうが、じつくりと眺めていると、モダンなイメージが湧いてくる。自然体のように見えて、その奥には洗練された知性と先端のライフスタイルを内包する。そんな現代の男性像が浮かび上がるウォッチに仕上がっている。

「自分」を妥協しない男性たちへ。

毎年、後に「名品」と讃えられるモデルを送り出すカルティエ。次は、今年100周年を迎える「クッション」を紹介しよう。

\* \* \*

30年後の世界に再び響く女性賛歌。

それは年輪を感じさせる豊かな知性であったり、あるいは何ものにも囚われない自由な生き方であったり。大人の趣味の代表的分野である高級機械式腕時計の世界は、時を告げる機械に「デザイン」という概念が産まれたことで一気に深みを増した。時間を知る道具を服のように「着る」現在のウォッチの愉しみは、このメソンの功績が極めて大きい。

腕時計のブランドは、一般にムーブメントと呼ばれる機構部分の製造技術を有するウォッチメーカーと、それを包むケース部分を手がけるジュエリーに大別できる。ウォッチの大半は、両者が専門外の部分を委ね合いながら製品化されている。貴金属分野で確固たる地位を築いたカルティエは、ジュエリーの代表格だったが、やがてムーブメントへの世界へと進出。すべての製造工程を自社内で完結することができた。世界でも数少ない「モノクローナル」へと成長を遂げ、現在に至っている。

80年代の名作が突如登場。世界が驚いた新作コレクション。女性向けのジュエリーウォッチ

女性向けのジュエリーウォッチ

手は1800年代後半には制作し、もともと玉石商であった出自からも想像できる通り、人々を圧倒する美の世界は、女性向けのコレクションでも存在に發揮されてきた。たとえば、「パンテールドゥカルティエ」は、ファッションカルチャーが世界的に花開いた1900年代の活気と退廃を見事に表現し、人気を博した名作だ。時計とジュエリーは非常に近い関係にあるが、宝石やジュエリーと完全に溶け合うような官能的な美にまで引き上げたウォッチデザインは、同社の最高峰のひとつとして多くの女性たちの記憶に留まってきた。

そして、今年1月の国際高級時計展「S.I.H.H.」で突如新作コレクションが発表され、世界中のプレスや顧客を驚かすに留まらず、新生「パンテールドゥカルティエ」ウォッチは、さらに美しいエッジで「女性の時代」を表現しつつ、しなやかなリンクの「フレッシュ」ジュエリーな魅力を際立てたタイムピース。ジュエリーとともに磨ければ豊かに歌い、単体でカジュアルに磨ければさりげなく微笑む。優美でクラマラスであると同時に、一入の女性としての精神性が波紋のように広がる複層的な「大人の美」の構築力は、さすがにカルティエのため息をつくしかない。

パンテールドゥカルティエウォッチ



CRWSPN0007 27mmx37mm MM. ステンレススティール 510,300円(税込)
CRWGPN0008 22mmx30mm SM. イエローゴールド 2,214,000円(税込)
CRW2PN0006 22mmx30mm SM. イエローゴールド、ステンレススティール 815,400円(税込)
CRWJPN0008 22mmx30mm SM. ピンクゴールド、ダイヤモンド 2,624,400円(税込)

Vincent Walverlyk © Cartier



Eric Sauvage © Cartier

ドライブ ドゥ カルティエ エクストラフラット ウォッチ



CRWGNM0006 38x39mm. ピンクゴールド 1,814,400円(税込)

Vincent Walverlyk © Cartier



John Balsom © Cartier

My Favorite Life Style

# TANK

| タンク ウォッチ



タンク アメリカン ウォッチ  
CRWSTA0032  
27x15.20mm、ミニ、スチール  
364,500円(税込)  
2017年11月発売予定



タンク アメリカン ウォッチ  
CRWSTA0016  
34.80x19mm、SM、スチール  
464,400円(税込)



タンク フランセーズ ウォッチ  
CRW4TA0008  
25.35x20.30mm、SM、スチール、ダイヤモンド  
785,700円(税込)



タンク ルイ カルティエ ウォッチ  
CRWGTA0011  
33.70x25.50mm、LM、ピンクゴールド  
1,458,000円(税込)

伝説は、静かに呼吸を続ける。タンクウォッチの100年。

Vincent Walverlyck © Cartier

そのデザインを検証するには、まずシャープな角を持つフラットなケースの縦枠に注目してみるとよいだろう。下アタッチメントとの接点が隠されており、非常にシンプルなラインを形成していること

男性にも女性にも愛され続ける  
アイコン的なコレクション

時は第一次世界大戦中、3代目であるルイ・カルティエは戦車の平面図からインスピレーションを得て、自らデザインを手がける。「タンク」と名付けられたこのウォッチの試作品はアメリカのジョン・パーシング將軍に贈られ、2年後の1919年に正式に発売。平和への切実な願いを込めながら一方ではカルティエらしい豊かな美を詰め込んだこのモデルはたちまち人気を集め、やがてメソンのアイコンとして長く愛され続けることになる。

ルイ・カルティエ本人が手がけた1917年のレジェンドウォッチ  
さて、今年注目のカルティエウォッチをもつひとつ紹介しておこう。上に掲載したのは、同社の眩いウォッチコレクションの中でもひととき有名な存在のひとつである「タンクウォッチ」。その歴史は、ちょうど今から100年前の1917年にまで遡る。

ここまで駆け足で今年の注目コレクションを紹介してきたが、カルティエの世界観は、文字や写真だけで半分も伝わらないだろう。手に取って眺め、腕に着けて確認すれば、人々が同社の製品を手放さない理由を感覚で理解できるはずだ。実物は下記店舗で体験できるので、ぜひ「美の高峰」の世界を覗いてみよう。

がよく分かる。自由でエレガントなエスプリは、カルティエらしさと同時にフレンチデザインの特徴でもあると言えるだろう。  
タンクのコレクションには、いくつかのバリエーションが派生しており、現在は男女兼用モデルを中心に展開されている。写真右の「タンク ルイ カルティエ ウォッチ」は、ルイ自身も愛用したというオリジナルに最も近いデザインが保たれたモデルだ。左の2つは、上下方向のサイズを大胆に増して優美さを強調した「タンク アメリカン」。やはり男女兼用で、ミニモデルも追加された。中央右の「タンク フランセーズ」は、リストウォッチというよりもブレスレットウォッチと呼びたくなる美しさだ。今年で誕生100年となる「タンク」コレクション。今後がますます楽しみだ。

\* \* \* \*

Biz Life Style Pick up >>> 定番モデルに加え、最新コレクションも続々と入荷中  
上質な空間でカルティエの美の世界を体験できる中区の名店



上質な空間で、美術品のよう  
に美しい機械式腕時計の魅力  
堪能するひとときを。広島市中  
区の「下村時計店」は、世界各国  
の一流ブランドのウォッチを  
実際に手に取って比較できる  
専門店。取り扱うラインナップも  
年々拡充中で、充実を極めたコレク  
ションを用意して市の内外から訪  
れる時計ファンたちを迎えている。  
本店のカルティエコーナーでは、  
各国の王族やセレブらに愛  
され続けるブランドの世界観が  
美しく展開されている。最新  
定番モデルの数々に彩られた完  
成された美の世界は、一見の価値  
あり。もちろん本紙で取り上げ  
た注目モデルも展示中なので、  
ぜひ実感を体験されたい。

取り扱いブランド

カルティエ、パテックフィリップ、ランゲ&ゾーネ、フランクミュラー、  
ロレックス、オメガ、ブライトリング、パネライ、タグホイヤー、ゼニス、  
IWC、グランドセイコー、クレドール、ガランテ、アストロン

SHIMOMURA SINCE 1873

下村時計店 本店  
広島市中区本通9-33 TEL.082-248-1331  
営業時間/10:30~19:30

<https://jw-shimomura.co.jp>

カルティエ カスタマー サービスセンター  
フリーダイヤル 0120-301-757  
受付時間/10:00~20:00 無休(年末年始を除く)

[www.cartier.jp](http://www.cartier.jp)